

Via Latina 22



2017年12月
265号

総本部よりのお知らせ - マリア会



**総本部と
シャミナード神学校から、
全てのフラザーと
シスター、協働者と
家族の皆さんに、
ご生誕の喜びと
恵みある新年の
ご挨拶を申し上げます！**

マザー・アデル列福の準備

10月24日火曜日、アジャンの Hubert Herbreteau 司教は列聖省とマザー・アデルの列福準備を始めるために、司教座聖堂の主任司祭、Nicolas Richer を伴ってローマ総本部を訪れました。

その日の朝、列聖請願者の Gascon 師に伴なわれて、彼らは列聖省長官、Angelo Amato 枢機卿邸下を迎えられ、彼から列福式の典礼について説明を受けました。

同日午後、Via Latina 22 にて FMI のマザー Franca Zonta 総長と会合を持ち、2018年6月10日、日曜日にアジャンで行われる列福式の詳細について話し合われました。



左より: Fr. Nicolas Richer 師, Herbreteau 司教,
FMI の Sr. Franca Zonta とマリア会の Antonio Gascón 師

USA プエルトリコで司祭叙階式

USA管区にArmando J. Añeses Bocanegra新司祭が誕生しました。2017年11月25日に彼はプエルトリコの首都、サンホセのRoberto González Nieves大司教によって叙階されました。

叙階式はプエルトリコ、サンホセ市のサンホセ中・高等学校にて250名もの列席者の前で執り行われました。列席者はマリアンスタ家族のメンバー、両親、兄弟、甥姪たちや他の親類、そしてAñeses神父の親しい友人たちでした。典礼は大変感動的で、ラテンアメリカとスペインの聖歌を伴っていました。ミサ聖祭の後、列席者は新司祭に挨拶しながら軽食を一緒にとりました。

この叙階式はもともと9月23日に予定されていましたが、プエルトリコが未だにその壊滅的な被害から復興していないハリケーン、マリアのために延期を余儀なくされていたものです。



Armando 師(左より4人目)、大司教様
と叙階式に参加したマリアンスタたち

ベナンでIGNACE GUÉBA 士の終生誓願と マリア会在住10周年記念式典



地区長のPagnan師、司教様とGuéba士

中・高等学校の創立を思い出させるもので、感動的なものでした。Ignace士の村から持ってきたホーンが鳴り響きました。終生誓願のその時が来たのです。Ignace士が前に進み出ました、、、。

Ignace士は2009年7月4日にカラで初誓願を立てました。コートジボワールで宗教の勉強をした後、彼はナイロビの東アフリカ・カトリック大学で物理を学びました。2年前から彼はナティティングーのシャミナード中・高等学校で教師をしています。ミサの後、シャミナード中・高等学校の食堂で再び兄弟的な食事会が催されました。ナティティングーのシャミナード中・高等学校の10周年、おめでとう！Ignace士、終生誓願有難う！

2017年11月4日土曜日、朝早くから兄弟、先生、生徒、両親そして町の信徒たちがベナンのナティティングーカテドラルに集まりました。そこでIgnace Guéba士の終生誓願式が挙行され、またマリア会在ベナン活動10周年の神への感謝のミサが執り行われることになっていました。

ミサ聖祭はAntoine Sabi Bio司教によって司式され、近隣や遠方から来られた20名程の司祭が共同司式に加わりました。会員のJonas Kpatcha師が説教を行いました。もちろん、その説教はナティティングーのシャミナード

ローマでマリアニスト家族世界評議会開催 (WCMF)

2017年11月1日～3日、マリアニスト家族世界評議会が総本部で開催されました。出席者は、信徒マリアニスト共同体 (MLC) の国際チーム、マリア会総長評議員会、および初めて参加の新任の教育局長シスター Clotilde Fernández del Pozoを含む汚れなきマリア修道会の総長評議員会でした。残念ながら、アリアンス・マリアルの Christiane Barbaux 代表は最近になっての健康の問題のために欠席しました。



会議に参加したマリアニスト家族世界評議会の皆さま
ローマの総本部の小聖堂にて

マリアニスト男女修道者の200周年祭の成果、マザーアデルの列福とFMIのベトナムとマラウイでの二つの新規創設の喜びを分かち合いながら、感謝のうちに、WCMFはマリアニスト家族の進展について熟考を重ねました。評議会はずでにグループ間に1年前から配られていた“Marie-Thérèse de Lamourous: Who are you マリー・テレーズ・ラムルース：あなたはどのような方ですか？”という文書について特に検討しましたが、それは、各国のマリアニスト家族評議会の自由処理に任せる前にこの文書をまとめるためでした。

WCMFはこの機会を利用して、各国の”家族評議会“について話し合い、またその役割と任務を明確にしました。その国あるいは地域に存在する各枝のリーダーから成るこれら各国や地域の評議会の存在は、私たちマリアニスト家族の生活を強め、また新たな合同計画を促進し支援するために基本となるものです。

今年の会議を終えるに先立って、世界家族評議会は3か年計画を評価し更新しました。そして来年の活動計画表を決定しました。評議会参加者は、特に2018年4月8日、月曜日にお祝いするお告げの保護の祝日、また、2018年10月14日、日曜日に行われる世界マリアニスト祈りの日について話し合いました。2018年の世界マリアニスト祈りの日は、ベトナムで新たな宣教活動を開始しているFMIのシスターたちと一致して、ベトナムにあるラ・ヴァンの聖母の巡礼所に集います。



私たちのカリスマを深め広めるためのセンターのネットワーク マリアニストカリスマ研究センター所長会議

2017年11月27日から30日にかけて、総本部が主催するマリアニストカリスマ研究と普及を任務とするセンター所長の会議が開かれました。各マリアニストゾーンには少なくとも1つのセンターがあり、アフリカのように2つのセンター、あるいはヨーロッパでは3つのセンターがあります。一人のセンター所長が各ゾーンの活動を調整します。これらセンターは(2017-2018年)国際名簿のP.133-134に記載されています。



11名のセンター所長と総長評議員会メンバー、およびFMI霊生局長シスターAna Lucia de Goesが出席しました。この会議の間に、参加者は異なるセンター所長間の協力を強める手段について熟考を重ねました。また、一つには昨年7月の国際マリアニスト養成センター(ICMF/CIMF)が閉鎖(Via Latina 22 #260, p.2参照)されたために、これらのセンターを支えるために設けられた新たな組織についても討議しました。前のICMFセンター所長のJack Ventura士の出席は、これらの発展について参加者が考える上で助けとなりました。センター所長によるセンターの活気づけは、ゾーンのマリアニスト家族全体への奉仕にあたって、これから当該のゾーン代表者の責任の下に実践されます。センターの奉仕活動においてセンター所長とゾーン代表者を支援するために、「マリアニスト養成に関するゾーンセンターの活性化のための手引き書」という新しい文書が書かれました。この文書は新たに設けられた組織の仕事の中心的な道筋を示しています。

ラ・サール修道会の総本部でのラ・サール資料・研究センター所長との会議は、参加者が私たちの研究プランと目標に多くの共通点があることに気づく助けとなりました。彼らのように、私たちは、私たち自身のカリスマ家族であるマリアニスト家族に関連して自分たちのカリスマを深める必要があります。また、私たちのカリスマは教会全体のための一つの贈り物であると気づいています。私たちの研究センターがそのようなかたちで私たちの助けとなりますように。

マリアニストカリスマ研究センターの調整役



マリアニスト養成センターの新たな支援組織は、センター間のコミュニケーションと協働を強化するため1人の調整役を配置します。この調整役は、センター所長、また時にはゾーン代表者のために特別に任じられた相談役です。彼は霊生局長と緊密に連絡を取りながら仕事を進めます。

総長評議員会の要請で、フランス管区、Robert Witwicki師がこの任務を引き受けてくれました。その任期はこの12月から始まり3年間です。彼のこの奉仕への寛大さと情熱に感謝します。また、これに同意されたフランス管区長評議員会にも感謝します。Robert神父は現在フランスのマリアニスト養成センターの所長でもあります。いくつかの計画について、特にマリスタ修士会と第3世代のセッション(年配修道者のためのサバティカルプログラム)に参加する会員たちのためにコンタクトする必要があるのは、このRobert神父です。この件に関する詳細は後日提供します。

誓願式と写真に関する注意喚起

下記の場合：要請された資料を総書記に送付するよう、行政単位の事務局に再度要請します。



- 初誓願：必要情報を完成させ、写真も添えてください。
これは非常に重要です。なぜなら、その人は私たちがこの情報を受け取るまで、当方のデータベースに記録さないからです。
- 終生誓願：私たちはその日時と場所を知る必要があります。
- 司祭叙階：私たちはその日時、場所そして叙階を執り行う司教の名前を知る必要があります。

また、私たちはデータベースを最新化するため全マリア会修道者の写真を集めています。この作業を効率よく正確に加速するため、次のポイントについて皆さんの協力をお願いします。

- これらの写真はフルネームを伴うもの
- これらの写真はJPGフォーマット沿うもの
- それらをe-mailかmailで総本部にCDかDVDに記録して、または、可能な他の方法で送る。

連絡先：総書記 (gensecsm@smcuria.it) // 書記室 (secretariatsm@smcuria.it). サンクス！

メールアドレス変更

- Fr. Rodrigo Betancur (CE): rodrigobetancurarango@gmail.com
- Bro. Isaac Gómez Rodríguez (AR): jgomez.rodri54@yahoo.com
- Fr. Manuel Madueño (AR): mmpsm44@gmail.com
- Fr. Francisco José del Barrio Tosantos (ES-Brazil): smmariliabr@gmail.com
- Fr. Eddie Alexandre (FR): eddie.alexandre@gmail.com
- Bro. Christophe Mbonde (FR-Sector Congo): christmbonde@gmail.com
- Bro. Jack Dempsey (US): brojack43@gmail.com
- Fr. David McGuigan (US): dmcguigan@capemaymarianists.org
- Bro. Giancarlo Bonutti (US): giancarlo1600@gmail.com
- Bro. Chester Burnog (US): chetjet123@gmail.com
- Bro. Evasio Rota (IT): rota.sm37@gmail.com
- Fr. Bhaskar Gallelli (IN): gallelib@rediffmail.com

総本部通信

- 訃報：# 25-28
- 11月2日：国際マリアニスト教育ネットワーク (IMEN) についての書簡、3か国語でマリア会 教育局長、Maximin Magnan士から行政単位の教育補佐と責任者あて送付
- 12月4日：連絡 #1 (代議員としての私たちの責任)、3か国語で2018年マリア会総会の準備委員会から全代議員あて送付

クリスマスおめでとう！